

# 学 校

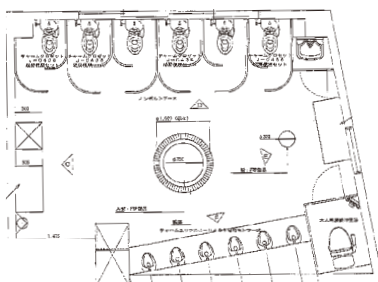
## 新清和台幼稚園

学校法人 森友学園

### テーマは「行きたくなるトイレ」

- ・子供たちが「行きたくなるトイレ」をテーマに「陽だまりの森」をデザイン。トイレに名称を付けるとともに、大きな木の周りに子供が好きな動物やモチーフを配置。
- ・一度「陽だまりの森」へ行くとトイレを嫌がらなくなり、排せつの自立が急速に早まる。
- ・子供が笑顔でトイレから出てくるようになった上、中には用を足すことを忘れてしまう子供や、トイレで遊び、なかなか出てこない子供がいるなど、想定以上の効果を上げた。
- ・乾式床を採用し、清潔を維持。柵、ドア、手洗い場、便器等のカドは全て丸みを帯びさせて、ケガ防止に配慮。

●施設所在地：兵庫県川西市清和台西 ●設計：(株)ジャクエツ



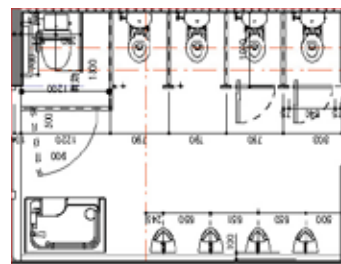
## 所沢ひまわり幼稚園

学校法人 太陽学園

### トイレを「夢の世界への入口」に

- ・主に使用する対象が幼稚園児であることから、トイレを「嫌な空間」から「夢の世界への入口」と感じられるような工夫を実施。全5か所の壁面に、それぞれの年齢に沿ったテーマの壁画を描き、トイレのイメージを一新。トイレ壁画のイメージを、部分的に園舎の壁面へも描き込み、総合的にイメージが連なるように配慮。
- ・壁面は安全な水性絵の具で描かれており、上書きができ、比較的簡単・安全に補修可能。
- ・乾式床の導入により、清掃が簡易となり、より衛生的な管理が可能に。

●施設所在地：埼玉県所沢市三ヶ島 ●設計：シーラカンスK&H ●壁画制作：須磨 阿弥



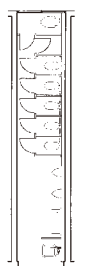
## 幼保連携型認定こども園 はまようちえん

学校法人 小寺学園

### 子供たちを「孤立させない」トイレ

- ・明るさ、開放感、立地によって、トイレに入る子供たちを孤立させない。内部が職員室からも見え、安心・安全。
- ・フロア素材は、多くのトイレで用いられるウレタン塗装を採用せず、エントランスと続きのホワイトオーク無垢材(オイル仕上げ)を贅沢に使用。裸足で生活する子供が違和感の無い、皮膚感覚までも快適なトイレ。
- ・汚した際、濡れた床を子供がただちに拭き取れるモップを配備し、清掃を習慣に。大便器ブースの扉は、軽くて指を挟まない構造。入りやすく大人が介助しやすい扉の無いブースは、外から見えないように奥に配置。最奥にシャワーブースと大人用トイレブースを配置。

●施設所在地：兵庫県尼崎市浜 ●設計：寺地洋之+アークアンドトークアソシエイツ



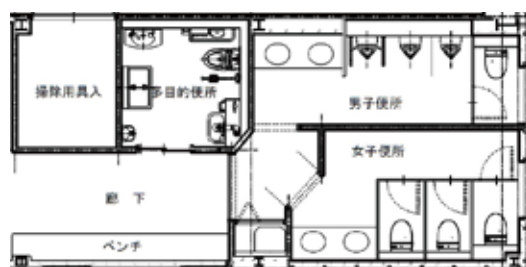
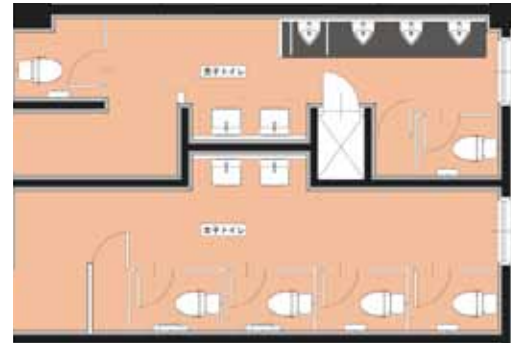
## 釧路市立共栄小学校、 鳥取小学校、昭和小学校

釧路市教育委員会

### 開放的で清潔感があり、 災害対策も万全

- ・財政が厳しい中、老朽化・災害対策を行うため、民間業者の創意工夫を活用する「PFI(Private Finance Initiative)方式」によって整備。
- ・上履き使用であることから、ビニル系の床材を採用し、乾式清掃。また、床から高さ約1.8mはコーティングされた壁材を使用し、清掃を容易に。男子トイレにおいて一般床と小便器使用時の踏込位置が色で容易に判断できるよう配慮するとともに、飛散防止を目的に小便器には的シールを設置するなど、きれいなトイレの持続に配慮。
- ・段差解消とともに洋便器化。
- ・災害対応として、マンホールトイレを新設したほか、校舎1階にオストメイト(P.16)対応の多機能トイレも設置。

●施設所在地：〈共栄小学校〉北海道釧路市双葉町〈鳥取小学校〉北海道釧路市鳥取北〈昭和小学校〉北海道釧路市昭和中央 ●設計：(株)武田建築設計事務所



## まつふし 松伏町立松伏小学校、金杉小学校、 松伏第二小学校、松伏中学校

埼玉県北葛飾郡松伏町

### 「コミュニケーションの場」になるトイレ

- ・町内の小中学校の校舎新築や大規模改修、耐震化の際に、校舎及び体育館のトイレも同時に新設・改修。児童・生徒・職員にとって、自宅のトイレより使用頻度の高い学校のトイレを「憩いの場」「コミュニケーションの場」として空間設計。
- ・児童・生徒の日常の清掃で清潔さを保持し、不具合に迅速かつ安価に対応できるよう、汎用性のある一般的な器具を採用。乾式床を採用し、洋式化するとともに小便器の自動洗浄を導入して、清掃・維持管理を容易に。
- ・トイレ入口のドアをなくし、バリアフリー化をし、オストメイト(P.16)対応の多機能トイレも設置。
- ・体育館は、地域に施設開放を行うとともに避難所であることから、児童・生徒及び地域住民の利用を考慮。仮設トイレに対応した災害用マンホールも新設。
- 施設所在地：〈松伏小学校〉埼玉県北葛飾郡松伏町ゆめみ野東〈金杉小学校〉埼玉県北葛飾郡松伏町大字大川戸〈松伏第二小学校〉埼玉県北葛飾郡松伏町田中〈松伏中学校〉埼玉県北葛飾郡松伏町大字大川戸 ●設計：〈松伏小学校〉(株)マルタ設計〈金杉小学校〉(株)松下設計〈松伏第二小学校〉(株)慎建築設計事務所〈松伏中学校〉(株)共同設計社

## みんなでつくるトイレ (近江八幡市内の全4中学校)

近江八幡市教育委員会

### 愛着の湧くトイレ空間を目指して

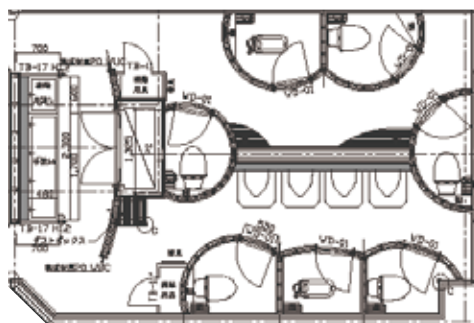
・滋賀県近江八幡市内の学校施設は築後30年以上経過しており、トイレは5K(P.16)との印象により「トイレに行きたくない。」と我慢したり、生活様式の変化により和式便器が使えない生徒もいた。

・2011年度より、市内全4か所の中学校において、生徒会を中心とした2か年のワークショップで、「学校に必要なトイレをつくろう」を目標に掲げ、学校ごとに様々な取組を実行。これまでの行政主導の改修ではなく「学校」や「生徒」の意見を聴いて共に考え作り上げることににより愛着が湧き、大事に使うことに期待。2014年度で全学校の工事完了。

・1年目は改修プランの作成を通じ、トイレに関する情報収集、プランを説明するための表現やプレゼンする方法を学習。2年目には施工体験として工事現場の見学、内装材の選定やサインのデザイン、記念制作等を実施。

・完成後には、トイレ清掃・維持管理を生徒自らが考えて啓発ポスターを作製。市教委では、維持管理等についての活動の企画等を継続して実施。

●活動地域：滋賀県近江八幡市 ●設計：〈八幡東中学校、八幡中学校〉後藤平建築事務所〈八幡西中学校、安土中学校〉(株)アビエルタ建築・都市



## 近江八幡市立桐原東小学校

近江八幡市教育委員会

### 子供たちの夢が詰まった ユニークトイレ

・近江八幡市内の中学校のトイレ改修工事が2014年度で完了することから、並行して2013年度から桐原東小学校でもトイレ改修を開始。

・小学校では、担当者との年齢差が大きく、中学校と同様の取組は困難であると考え、児童の意見をより細かく聴き取るための手段として、大学院生の協力を得て設計・施工の2か年にわたるワークショップを開催。

・児童たちが意見を言いやすい環境づくりに努めた上で、児童たちが求めているトイレ像のヒアリング、模型作り等によってプランを計画。また施工完了に合わせ大学院生により「おそうじマニュアル」を制作し、トイレ環境の保全のためには掃除が大事であることを児童に伝えた。

・児童・学生参画型のトイレ改修は、その後の小学校の改修工事にも採用され、2校目以降は教職員とのプラン検討会も実施するなど、工夫を継続。

●施設所在地：滋賀県近江八幡市土田町

●設計：後藤平設計事務所

日本トイレ大賞

## 通学路トイレ 「すずめのおやど」 清掃維持管理活動

「すずめのおやど」清掃維持管理PTA

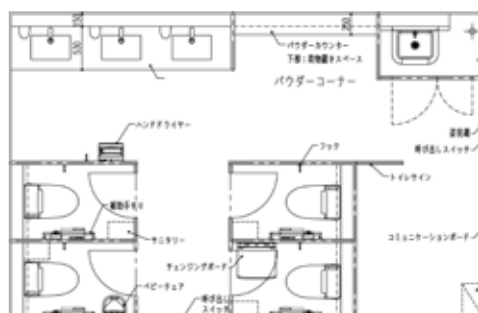
### 保護者、地域、学校、行政 一体で子供を見守るトイレ

・長崎県諫早市において、通学距離が最長4kmとなる通学路には、山道も含め途中にトイレがなく、特に低学年児童にとって不安が大きかった。こうしたことから、屋外トイレが持つ5K(P.16)を払拭した安心・安全なトイレ設計のため、PTA・地域・学校が参画し、設計士と設置後の見守りと管理の在り方を十分協議した上でトイレを設置。

・設置後の「造るのは簡単、造った後が肝心」を具現化し、安全管理・保全管理について保護者・地域・学校・行政が一体となって共有することで、12年にわたる親子でのトイレ清掃活動となって継続。地域住民も利用し、見守りの一助に。

●活動地域：諫早市立森山東小学校田尻地区通学路 ●設計：(有)設計事務所 Gondra

 日本トイレ大賞



## 東京大学(本郷) 中央食堂女子トイレ

国立大学法人 東京大学

### 産学協力で設備も充実

・2014年に「東京大学トイレ環境改善プロジェクト」を立ち上げ、合計53棟257か所のトイレ改修を実施。

・1日約3,000名が利用する中央食堂内にあるトイレは、留学生を含む学生や教職員のほか、学外(国内外の教育研究関係者・旅行者、近隣住民等)の利用も多いことから、東京大学と(株)LIXILが共同でコンセプトモデルをデザイン。

・「ユニバーサルデザイン」「女性配慮」「快適性」「防犯・安全」「清潔・環境配慮」というキーワードを設定。

・手すり、ベビーチェア、フィッティングボードの他、PCを持ち歩く学生等、手荷物が多いことに配慮し、フックや荷物置場をブース内や洗面台・化粧台下に設置するなど、設備面も充実。

●施設所在地：東京都文京区本郷 ●設計：東京大学トイレ環境改善ワーキンググループ+(株)LIXIL